# 平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月8日


上場会社名　グリー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3632　URL　http://gree.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田中 良和
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部長　(氏名) 島 竜太郎　TEL 03-5770-9500

四半期報告書提出予定日　平成24年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年6月期第3四半期 | 118,150 | 174.2 | 63,732 | 198.6 | 63,496 | 200.8 | 35,638 | 183.9 |
| 23年6月期第3四半期 | 43,085 | ― | 21,345 | ― | 21,111 | ― | 12,551 | ― |

(注)包括利益　24年6月期第3四半期　35,854百万円　(182.6%)　23年6月期第3四半期　12,687百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年6月期第3四半期 | 153.91 | 146.89 |
| 23年6月期第3四半期 | 55.08 | 51.71 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年6月期第3四半期 | 125,373 | 71,270 | 56.8 |
| 23年6月期 | 62,855 | 37,462 | 59.5 |

(参考) 自己資本　24年6月期第3四半期　71,156百万円　23年6月期　37,398百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年6月期 | ― | 0.00 | ― | 9.00 | 9.00 |
| 24年6月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 24年6月期(予想) | | | | ― | ― |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成24年6月期の配当につきましては、現在未定です。開示が可能になった時点で、速やかにお知らせ致します。

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 160,000～170,000 | 149.3～164.9 | 80,000～90,000 | 156.9～189.1 | 80,000～90,000 | 159.5～191.9 | 44,000～50,000 | 141.2～174.1 | 189.75～215.63 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年6月期3Q | 232,860,000 株 | 23年6月期 | 229,300,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年6月期3Q | 2,110 株 | 23年6月期 | 2,110 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年6月期3Q | 231,561,090 株 | 23年6月期3Q | 227,864,365 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.連結業績予想に関して
上記の予想は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。業績の予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付書類)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2.配当予想金額に関して
平成24年6月期の配当金額は未定でありますが、決定次第速やかに開示致します。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

我が国の携帯電話契約数は平成24年３月末時点で１億2,418万件、そのうち第三世代携帯電話契約数は1億2,413万件に達し、全端末のうち99%以上は高速データ通信が可能な状況と言われております（電気通信事業者協会発表）。また、スマートフォンの需要が引き続き好調に推移しており、平成23年10～12月のスマートフォン出荷台数は689万台、平成24年の出荷台数予測は3,113万台（IDC Japan株式会社調べ）となり、携帯電話出荷台数の半数以上をスマートフォンが占めております。また、世界的にスマートフォンが普及しており、平成24年の累計出荷台数は17億台（gartner社調べ）に到達しております。

このような事業環境の下、当社グループは主力のインターネットメディア事業の拡大に向け、その中核を成すモバイル・PC向けSNS「GREE」において、ユーザー数の拡大、収益基盤の確立・強化、国際展開に取り組んで参りました。

当四半期は引き続き積極的にプロモーション等を実施し、平成24年３月末時点でグループ全体の会員数は約2.3億人に到達するなど、ユーザー数が大きく伸長しました。また、初となる全世界に向けたソーシャルゲームの提供を開始するとともに、平成24年４月～６月期に展開を予定している、グローバルでシームレスなアプリ提供が可能となる新しい「GREE Platform」の構築を進めるなど、国際展開を順調に進めております。

ソーシャルゲームを含むネットワークゲーム市場の拡大が続く中、社会やユーザーに対して誠実にサービスを提供するという経営理念に基づき、不断の努力を行い社会的責任を十分に全うしていくために、「GREE」におけるソーシャルゲームに関するサービス向上、適正利用の促進のため、平成24年３月12日付で、社長直轄の「利用環境向上委員会」を設置し、サービス向上及び適正利用促進、並びにリアル・マネー・トレード（注１）関連行為の禁止の徹底に向けて様々な施策等を実施しております。４月６日には、利用環境向上委員会とは独立した「利用環境の向上に関するアドバイザリーボード」を設置し、当社が実施・導入した施策等について、外部の視点から評価等を実施していただきます。

加えて、３月21日にプラットフォーム事業者６社によるソーシャルゲームの利用環境向上等に関する連絡協議会を設置し、市場のさらなる健全な発展と良好な利用環境の維持・向上、ユーザーによる適正利用の推進、ユーザー保護の充実・強化を目的に、様々な取り組みを開始していきます。

また、サイト内の安全性及びサービスの健全性の維持のために、平成20年８月に一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（注２）（以下「EMA」といいます。）より、サイト運用管理体制に関する第三者認証を取得して以来、EMA基準以上の管理体制を維持し、継続的・定期的に実施されるEMAの審査を通過しております。

更に、一層強固なパトロール体制の整備、青少年の保護・健全育成に向けた取り組みの強化などを継続的に実施し、ユーザーによる安心かつ快適な利用環境の維持、並びにサービスの健全な発展に努めております。

以上の取り組みの結果、当第３四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高118,150百万円（前年同期比174.2%増）、営業利益63,732百万円（前年同期比198.6%増）、経常利益63,496百万円（前年同期比200.8%増）、四半期純利益35,638百万円（前年同期比183.9%増）となっております。

（注１）「GREE」サービスの一部の利用権をもって、現金その他の財物、財産上の利益との交換取引をすること、または交換取引をすることの宣伝・告知・勧誘をする行為

（注２）モバイルコンテンツの健全な発展と違法・有害情報からの青少年保護を目的として、モバイルサイトの審査、認定、運用監視等を行う第三者機関

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は125,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ62,518百万円増加致しました。流動資産は102,657百万円（前連結会計年度末比55,050百万円増）となりました。主な増加要因は「現金及び預金」が29,407百万円増加したことによるものであります。固定資産は22,715百万円（前連結会計年度末比7,467百万円増）となりました。

負債につきましては54,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ28,709百万円増加致しました。流動負債は53,914百万円（前連結会計年度末比28,712百万円増）となりました。主な増加要因は「未払金」及び「未払法人税等」がそれぞれ12,635百万円、13,466百万円増加したことによるものであります。固定負債は188百万円（前連結会計年度末比２百万円減）となりました。

純資産につきましては、71,270百万円（前連結会計年度末比33,808百万円増）となりました。主な増加要因は

「利益剰余金」が33,575百万円増加したことなどによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は前連結会計年度末59.5%に対し、当第３四半期連結会計期間末は56.8%と2.7ポイント減少しております。また、支払い能力を示す流動比率は、前連結会計年度末188.9%に対し、当第３四半期連結会計期間末は190.4%と1.5ポイント増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）「GREE」をグローバルなプラットフォームに成長させるべく、ソーシャルゲームの開発・運営に注力しており、平成24年３月末時点でグループ全体で約2.3億人のユーザーを有しています。

当社グループは、引き続きインターネットメディア事業に経営資源を重点的に配分し、各国ユーザー数の拡大及び世界に向けたソーシャルゲームの開発などを通じて、収益基盤の確立・強化に取り組んで参ります。また、人員増強、世界の拠点整備など経営基盤の強化にも引き続き取り組んで行く計画です。

ユーザー数の拡大に向けては、世界各国の大手通信事業者との連携やグローバルでの多様なプロモーション手法を用いた広告宣伝活動の展開を積極的に推進して参ります。同時に、収益基盤の確立・強化に向けては、世界に向けたソーシャルゲームの新規投入やコンテンツの利用拡大に向けた施策を推進することで、有料課金収入の拡大及び安定化を図ります。

また、平成24年４月～６月期に展開を予定しているグローバルでシームレスなアプリ提供が可能となる新しい「GREE Platform」を通じて、世界のユーザーのアクティビティを活性化するとともに、関連する売上の成長を見込んでおります。今後もユーザーの利用動向を注視しながら、アクティビティ向上に資する各種コンテンツの提供及び機能の拡充を図って参ります。

広告メディア収入については、サービス規模の順調な成長に伴う広告媒体価値の向上を背景に、拡大が見込まれるスマートフォン向け広告の強化などによって広告メディア収入の拡大を図って参ります。

一方、費用については、主に広告宣伝費、トラフィックの増加に伴うサーバー賃借料、有料課金収入の拡大に伴う支払手数料、人件費の増加や国際展開の進展に伴う各種費用等を見込んでおります。

以上により、当第３四半期連結累計期間までの業績推移と今後の取り組みによる影響を考慮して、通期の売上高160,000百万円～170,000百万円、営業利益 80,000百万円～90,000百万円、経常利益 80,000百万円～90,000百万円、当期純利益 44,000百万円～50,000百万円を見込んでおります。

## ２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（１株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号 平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

（４）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

## ３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## ４．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年６月30日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成24年３月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,254 | 51,662 |
| 売掛金 | 16,944 | 32,993 |
| 未収入金 | 5,984 | 14,144 |
| その他 | 2,829 | 5,625 |
| 貸倒引当金 | △406 | △1,769 |
| 流動資産合計 | 47,607 | 102,657 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 959 | 1,606 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 9,893 | 9,455 |
| その他 | 352 | 1,655 |
| 無形固定資産合計 | 10,246 | 11,111 |
| 投資その他の資産 | 4,043 | 9,997 |
| 固定資産合計 | 15,248 | 22,715 |
| 資産合計 | 62,855 | 125,373 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 13,757 | 26,393 |
| 未払法人税等 | 9,967 | 23,433 |
| 引当金 | ― | 525 |
| その他 | 1,477 | 3,562 |
| 流動負債合計 | 25,202 | 53,914 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 191 | 188 |
| 固定負債合計 | 191 | 188 |
| 負債合計 | 25,393 | 54,102 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,135 | 2,172 |
| 資本剰余金 | 2,133 | 2,169 |
| 利益剰余金 | 33,434 | 67,009 |
| 自己株式 | △2 | △2 |
| 株主資本合計 | 37,701 | 71,349 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 97 | 126 |
| 為替換算調整勘定 | △401 | △318 |
| その他の包括利益累計額合計 | △303 | △192 |
| 少数株主持分 | 64 | 114 |
| 純資産合計 | 37,462 | 71,270 |
| 負債純資産合計 | 62,855 | 125,373 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年７月１日<br>至　平成23年３月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年７月１日<br>至　平成24年３月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 43,085 | 118,150 |
| 売上原価 | 3,454 | 8,527 |
| 売上総利益 | 39,630 | 109,623 |
| 販売費及び一般管理費 | 18,284 | 45,890 |
| 営業利益 | 21,345 | 63,732 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 7 |
| 為替差益 | 44 | 53 |
| その他 | 4 | 1 |
| 営業外収益合計 | 60 | 63 |
| 営業外費用 | | |
| デリバティブ評価損 | － | 224 |
| 投資事業組合運用損 | 7 | 62 |
| その他 | 288 | 11 |
| 営業外費用合計 | 295 | 298 |
| 経常利益 | 21,111 | 63,496 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 98 | 26 |
| その他 | 8 | － |
| 特別利益合計 | 106 | 26 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 21,217 | 63,523 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,061 | 30,175 |
| 法人税等調整額 | △399 | △2,395 |
| 法人税等合計 | 8,662 | 27,780 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 12,555 | 35,743 |
| 少数株主利益 | 3 | 104 |
| 四半期純利益 | 12,551 | 35,638 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年７月１日<br>至　平成23年３月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年７月１日<br>至　平成24年３月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 12,555 | 35,743 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 132 | 28 |
| 為替換算調整勘定 | － | 82 |
| その他の包括利益合計 | 132 | 110 |
| 四半期包括利益 | 12,687 | 35,854 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 12,683 | 35,749 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 3 | 104 |

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
当社グループは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
当第３四半期連結会計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日）
取得による企業結合

米国Funzio,Inc.の取得について
１．企業結合の概要
(1)被取得企業の名称及び事業の内容
被取得企業の名称　Funzio,Inc.
事業の内容　複数プラットフォーム（Android™、iOS、Facebook及びGoogle +）向けアプリケーションソフトウェアの開発

(2)企業の結合を行った主な理由
Funzio,Inc.は、Android™、iOS端末向けおよびFacebook、Google+などのモバイルソーシャルプラットフォーム向けにアイテム課金型のシミュレーションRPGを提供しており、北米最大級の経済紙であるThe Wall Street Journalで「最も革新的なスタートアップTop50」のひとつと評されるなど高い注目を集めております。
今般の買収により、当社はFunzio,Inc.の提供する有力なゲームとそれを生み出した優秀な開発チームを獲得することができます。
また、「Gree Platform」を通じてFunzio,Inc.の開発力と当社が日本で成功させたモバイルソーシャルゲームのノウハウの融合によって生み出されるハイクオリティなソーシャルゲームを世界に向けて多数提供していくことができる環境が整います。
(3)企業結合日
平成24年５月中（予定）

(4)企業結合の法的形式
本件買収は、当社の100％子会社GREE International,Inc.が新たに米国に設立した買収子会社（消滅会社）とFunzio,Inc.（存続会社）が合併するスキームを採用しております。本件買収に際しては、存続会社となるFunzio,Inc.の既存株主及びオプション保有者に対して買収対価として現金を支払います。

(5)結合後企業の名称
変更はありません。

(6)取得した議決権比率
100％

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠
当社の連結子会社であるGREE International,Inc.が現金を対価として持分を取得したためであります。

２．被取得企業の取得原価及びその内訳
取得の対価　210百万米ドル
これに伴い、金融機関より180億円の借入を実施しております。